

## 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

| 項目                 | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印)   | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------|--|--|----------------------------------|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |  |  |                                  |
| 1. 理念と共有           |  |  |                                  |
| 1                  | <p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている</p>      | 地域と共に自分らしく生き続けることができるよう、事業所としての理念をつくりあげている。                        |                                  |
| 2                  | <p>○理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる</p>                         | 理念の意識付けができるよう、ケアプランを通し支援に取り組んでいる。定期的に職員会議や申し送りにおいて、全員で理念の確認をしている。  |                                  |
| 3                  | <p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる</p> | 事業所内の数箇所に理念を掲示し、ケアプラン作成時に家族に伝えている。運営推進会議を通じ、地域の方々への理解や浸透の拡大に努めている。 |                                  |
| 2. 地域との支えあい        |  |  |                                  |
| 4                  | <p>○隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている</p> | 出勤時や散歩のとき、気軽に挨拶を交わし、利用者も交え会話を楽しんでいる。近所の方には畑で採れた野菜や花を届けていただくこともある。  |                                  |
| 5                  | <p>○地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている</p>   | 自治会に加入し、会長や役員の方々のご協力で、地域行事や活動に参加し交流に努めている。                         |                                  |

| 項目                    |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)                                |
|-----------------------|--|--|------|---|
| 6                     | <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>                  | 1年前から地区の高齢者の方々が、月に1度訪問し利用者と共に歌や会話を楽しんでいる。利用者に喜びを与えることで、張りのある生活をしていただいている。    | ○    | 地域に住む高齢者が事業所周辺を通行中、非常事態を生じた場合、手を差し伸べられるよう高齢者世帯とその生活状況を把握していきたい。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |  |  |      |   |
| 7                     | <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>                           | 評価の意義を理解し、活用できるよう、自己評価を分担し全員で行っている。改善点については検討を重ね取り組むようにしている。                 |      |   |
| 8                     | <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>           | 運営推進会議において参加者のさまざまな意見を傾聴し、サービス向上に活かしている。                                     |      |   |
| 9                     | <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>                            | 市町村と連携し、共にサービスの質の向上に努めている。   |      |   |
| 10                    | <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> | 地域福祉権利事業を活用中の利用者があり、現在、成年後見制度利用の手続きをしている。昨年、運営推進会議に包括支援センターのスタッフを招き勉強会をしている。 |      |   |
| 11                    | <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>            | 職員会議で勉強会を行い、あってはならない行為であることを日頃から、重々伝えるようにしている。                               |      |   |

| 項目                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|---|----------------------------------|
| <b>4. 理念を実践するための体制</b> |  |   |                                  |
| 12                     | ○契約に関する説明と納得<br>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                                 | 契約、解約時はお話をよく聴くようにしている。疑問点があれば理解していただけるよう、わかりやすい説明を心がけている。   |                                  |
| 13                     | ○運営に関する利用者意見の反映<br>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 日頃から、利用者が素直に気持ちを表現できるような雰囲気作りをし、職員間で意見・不満・苦情を共有している。生活支援専門員や介護相談員の訪問の際、問題提起があれば、迅速に対応し運営に反映させている。 |                                  |
| 14                     | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 毎月「だんらん通信」を発行し、健康状態や生活の様子を伝えている。職員も順番に記者となり、利用者との関わりを掲載、異動や紹介もしている。面会時には現況報告を欠かさないように努めている。       |                                  |
| 15                     | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 日頃から、家族が気軽に相談できる雰囲気作りを心がけている。意見・不満・苦情は謙虚に受け止め、職員全員で改善策を検討している。                                    |                                  |
| 16                     | ○運営に関する職員意見の反映<br>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている  | 意見を言い易い雰囲気づくりに努めている。個別に話しをする機会を設けたり、全体会議で意見交換をし、よい提案は積極的に取り入れるようにしている。                            |                                  |
| 17                     | ○柔軟な対応に向けた勤務調整<br>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている                      | 柔軟な対応ができるよう調整に努めている。  |                                  |
| 18                     | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 職員間の信頼関係の構築に努め、楽しくもやりがいや規律を持って仕事ができる環境を整備することで、異動や離職が最小限になるようにしている。                               |                                  |

| 項目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|---|----------------------------------|
| <b>5. 人材の育成と支援</b>               |   |   |                                  |
| 19                               | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている           | 毎月職員会議を開き、職員の意識向上や意思の疎通に努めている。外部研修には積極的に参加させ、資質の向上に努めている。                                 |                                  |
| 20                               | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域の同業者との勉強会には積極的に参加させている。催事に他施設の職員や利用者を招き、情報交換や交流の機会を持つことによって、ネットワーク作りやサービスの資質向上に取り組んでいる。 |                                  |
| 21                               | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み<br>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる                                    | 十分な休養や、気分転換ができる勤務体制を確保するようにしている。休憩室を設け、休憩時間にはゆっくりと休み、気分転換できる環境を提供している。                    |                                  |
| 22                               | ○向上心を持って働き続けるための取り組み<br>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている                        | 申し送りや職員会議、タイムカードへの感想記入など、職員に接する機会を持ち、気持ちよく働けるように職員の話をお聴きしている。                             |                                  |
| <b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>     |   |   |                                  |
| <b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b> |   |   |                                  |
| 23                               | ○初期に築く本人との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている             | 本人の気持ちに寄り添い話を聴き、受け止める努力をしている。   |                                  |
| 24                               | ○初期に築く家族との信頼関係<br>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている                  | 家族の立場にたち、その想いをしっかりと聴き、不安が解消できるよう努力している。また、不安や心配事につながらないよう前向きな会話を心がけている。                   |                                  |

| 項目                               |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|------|----------------------------------|
| 25                               | ○初期対応の見極めと支援<br>相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                               | 本人の心身の状態を十分聞き取り、何が必要な支援かを見極め、柔軟に対応できるよう職員間の情報共有に努めている。   |      |                                  |
| 26                               | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 事前に本人の性格や生活習慣を聞き取り、そのリズムを把握できるように様子観察をしている。座席の配置を職員間で検討し、仲間作りに努めている。明るく挨拶をし、常に声をかけ、集いの場に自然に足が向くような雰囲気づくりをしている。 |      |                                  |
| <b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b> |  |  |      |                                  |
| 27                               | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 日常の会話の中で、本人がどのようなことに興味をもち、なにができるのかを見極め、それを活かせるようにしている。伝統行事や、利用者世代の出来事、調理法等を教えていただき支えあう関係を築いている。                |      |                                  |
| 28                               | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている                                 | 家族とのコミュニケーションを欠かさず、共によりよい支援ができるように努めている。家族会催事においては、利用者、家族、職員が一丸となり、企画・準備の過程を経て、達成感や喜びを共有できるようにしている。            |      |                                  |
| 29                               | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援<br>これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している                                     | 本人と家族の思いを聴き、双方がよい距離感を保ちながら、より深い関係が築けるよう、家族関係の理解に努めている。   |      |                                  |
| 30                               | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                                       | 気軽に連絡を取ったり、遊びに来ていただけるよう、気持ちの良い応対を常に心掛けている。友人宅が近い利用者は、散歩時に立ち寄り立ち話をすることもある。                                      |      |                                  |
| 31                               | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている                                      | それぞれの性格や関係を把握し、仲間作りに力をいれている。ピアノを弾く人、歌う人、その能力をフルに発揮していただき、認め合い楽しむ事で孤独感を払拭できるよう、みんなで支えあっている。                     |      |                                  |

| 項 目                                |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|---|------|----------------------------------|
| 32                                 | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている                      | 必要に応じ電話等で情報交換をしたり、在宅に戻られた利用者様と再会をしたりして関係を継続できるようにしている。                                  |      |                                  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |   |   |      |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                        |   |   |      |                                  |
| 33                                 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している  | 本音を言い易い職員に、さりげなく希望や意向を聴いてもらったり、生活の様子を観察し把握できるように努めている。                                  |      |                                  |
| 34                                 | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                    | 本人・家族・知人・関係者から聞き取りをし把握に努めている。   |      |                                  |
| 35                                 | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている  | 個別生活記録、日誌、サービス実施評価票、コロンブス(気づき)ノートの情報より、職員全員が現状を把握するようにしている。また、いろいろな場面を設け、有する力の発見に努めている。 |      |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |   |   |      |                                  |
| 36                                 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している     | 本人、家族、職員、知人、医療関係者から、意見やアイデアを聴いている。介護サービス実施評価票を毎日記入し、職員が意識を持って業務を行う「生きたケアプラン」となるようにしている。 |      |                                  |
| 37                                 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 3ヶ月に一度見直しを実施。心身に大きな変化が生じた場合は、一部修正や変更をし、現状に即したものにしている。                                   |      |                                  |

| 項目                                 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|---|------|----------------------------------|
| 38                                 | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている    | 個別記録、日誌、介護サービス実施評価票、コロンブス発見ノート等を記入し、情報の共有や意見交換を行い、日々のケアやプランの見直しに活用している。       |      |                                  |
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |  |   |      |                                  |
| 39                                 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている              | 状況の変化に応じ家族と連携をとり、柔軟な支援をしている。  |      |                                  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |  |   |      |                                  |
| 40                                 | ○地域資源との協働<br>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している             | 地域の方に毎月1度コーラスのボランティアをしていただいたり、子供会の訪問を受けている。消防署との合同防災訓練、中学生の体験学習を実施し協働で支援している。 | ○    | 引き続き地域支援の活用拡大に力を入れていきたい。         |
| 41                                 | ○他のサービスの活用支援<br>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている  | 地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と情報交換をし、支援に役立っている。  |      |                                  |
| 42                                 | ○地域包括支援センターとの協働<br>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 現在、成年後見人の手続き中で、当初から地域包括センターの協力を得ての支援となっている。                                   |      |                                  |
| 43                                 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | かかりつけ医の受診を重視し、連携を取り支援している。時に家族と受診に同行し、医師との信頼関係の構築を目指している。                     |      |                                  |

| 項目 |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                              | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|---|--|------|----------------------------------|
| 44 | ○認知症の専門医等の受診支援<br>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している  | 情報収集に至らず、専門医との関係ができていない。                                     | ○    | つながりが持てるよう情報収集をしていきたい。           |
| 45 | ○看護職との協働<br>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている   | 医療機関の看護師に相談をし、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。                          |      |                                  |
| 46 | ○早期退院に向けた医療機関との協働<br>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している                      | 入院中は面会や家族との連携を欠かさないようにし、早期退院に向け病院関係者との情報交換や相談に努めている。         |      |                                  |
| 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している                                   | 家族ごとにそのあり方について随時話し合いを重ね、全員で方針を共有できるよう取り組んでいる。                |      |                                  |
| 48 | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援<br>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 重度の利用者においては今後のあり方について、かかりつけ医・家族・事業所と方針の確認ができており、その都度検討もしている。 |      |                                  |
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止<br>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている                      | 関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い防止に努めている。                                |      |                                  |



| 項目                               | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印)  | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)           |
|----------------------------------|--|---|--|
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |  |   |  |
| あ                                |  |   |  |
| (1)一人ひとりの尊重                      |  |   |  |
| 50                               | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                     | 誇りやプライバシーの確保を重視し支援に取り組んでいる。   | ○ 言葉使いや記録の取り扱いについて、何度も職員間で検討、確認、徹底をしていきたい。 |
| 51                               | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 利用者に歩み寄り焦らずゆったりと、その思いに耳を傾けるようにしている。本人の意向や意志を尊重し、可能な限り納得しながら暮らせるように工夫をしている。                |  |
| 52                               | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している       | 一人ひとりのペースを大切に、希望にそった支援に努めている。   | ○ 残存機能を見極め、機能回復・自信回復につながる介助を全員で取り組んでいきたい。  |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援     |  |   |  |
| 53                               | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている                  | 理容・美容は家族や職員が付き添い、近所の店に出かけている。衣類は本人の好みを尊重しつつ、新しい色やデザインへの挑戦も勧め、気持ちの切り替えや発見につながるよう支援している。    |  |
| 54                               | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている           | 園庭で育てた野菜やしいたけ、利用者で作った「いかんて(干し大根)」等々を食材とし、下ごしらえや食事、かたづけを一緒に楽しんでいる。                         |  |
| 55                               | ○本人の嗜好の支援<br>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している                  | 男性利用者は毎晩焼酎の晩酌をし、時にはつまみの刺身を一緒に買いに行っている。女性も2～3名はビールを時々楽しんでいる。要望があるときは一緒に出かけ、買い物を楽しむようにしている。 |  |

| 項目 |  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|----|--|--|------|----------------------------------|
| 56 | ○気持よい排泄の支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している         | 状態や時間をみて声かけをし排泄できるよう支援している。利用者により夜間はポータブルトイレを使用し、安全に気持ちよく排泄できるようにしている。                 |      |                                  |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している    | その日のスケジュールやタイミングに合わせて入浴を行い、入浴剤を使用したりゆず湯にして入浴を楽しめるようにしている。                              |      |                                  |
| 58 | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している                     | 一人ひとりの生活のリズムを尊重している。、夜間は室温や照明の調節をし、冬には湯たんぽを使用。水分補給等にも配慮し、安眠を確保できるようにしている。              | ○    | 日中の活動を増やし、夜間ぐっすり眠れるよう支援している。     |
| う  |  |  |      |                                  |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている  | 一人ひとりの力を見極め昔していたことをしていただいたり、日課をこなしていただいている。家族や近所の方に披露する機会を設け、張り合いや喜びを感じていただけるよう支援している。 | ○    | レクリエーションや行事内容も充実させていきたい。         |
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | その人の希望や状況に応じお金を使えるようにしている。   |      |                                  |
| 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                    | 一人ひとりの希望に沿って外出をしている。近所に買い物に出かけたり、天候の良い日は周辺の散歩をしている。                                    | ○    | 外食支援を続けたい。                       |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援<br>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | 公園や港にドライブに出かけたり、家族会でフローランテへの外出や花見を企画し、みんなで楽しめる機会を作っている。デパートやお墓参りは家族とともに出かけている。         |      |                                  |

| 項目                     |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)      |
|------------------------|---|--|------|---------------------------------------|
| 63                     | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。                                  | 要望に応じ気軽に電話できるようにしている。文章が書ける利用者は、自ら孫やひ孫に手紙を書き、やり取りを楽しんでいる。                        | ○    | 年賀状や暑中見舞いのやり取りができるよう支援してきたい。          |
| 64                     | ○家族や馴染みの人の訪問支援<br>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している                   | 訪問時は笑顔での応対を心掛け、話しやすい雰囲気作りに努めている。利用者とその訪問者が、落ち着いて話せる場所を速やかに用意し、くつろいでいただけるようにしている。 |      |                                       |
| <b>(4) 安心と安全を支える支援</b> |   |  |      |                                       |
| 65                     | ○身体拘束をしないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員会議で勉強会をし、知恵を出し合い工夫をすることで身体拘束をしないケアに努めている。現在その対象となる利用者はいない。                     |      |                                       |
| 66                     | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる                  | 状況によっては、安全のため一時的に玄関に鍵をかけざるを得ないこともあるが、支援によりすぐに解除している。                             | ○    | 職員の支援体制を強化し、いつでも庭に出て行けるよう開放感を与えていきたい。 |
| 67                     | ○利用者の安全確認<br>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している                           | 職員間で連携を取り所在や様子を把握しながら見守っている。   |      |                                       |
| 68                     | ○注意の必要な物品の保管・管理<br>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている                     | 一人ひとりの保管・管理能力を見極め危険防止に取り組んでいる。   |      |                                       |
| 69                     | ○事故防止のための取り組み<br>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる                  | その人の状態を見ながら事故予防をしている。事故発生時は原因や状況を検証し、その後の対応を職員全員で確認している。                         |      |                                       |

| 項 目 |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む)  |
|-----|---|---|------|-----------------------------------|
| 70  | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている                | 緊急時対応のマニュアルを作成し、目につく所に掲示している。応急手当や初期対応の勉強会をしている。  | ○    | 職員全員が自信を持って対応できるように、勉強会を増やしていきたい。 |
| 71  | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている  | 定期的に避難訓練を実施し、災害を身近に感じていただけるようにしている。地域住民の方には自治会を通じ、救援活動のお願いをしている。                            | ○    | 2ヶ月に一度は訓練を実施していきたい。               |
| 72  | ○リスク対応に関する家族との話し合い<br>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | リスク対応について職員間で話し合い、面会時や介護サービス計画変更時に家族に説明をしている。   |      |                                   |
| 73  | ○体調変化の早期発見と対応<br>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている          | 申し送り、日誌、個人生活記録で情報を共有、口頭でも連携を常時取り合っている。顔色、表情、様子、本人の訴えを早期にキャッチし対応に努めている。                      |      |                                   |
| 74  | ○服薬支援<br>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている      | 服薬リストを作成し、使用中の薬の内容を常に確認できるようにしている。症状の緩和を目指し、主治医と連携を取り適切な服薬支援に努めている。                         |      |                                   |
| 75  | ○便秘の予防と対応<br>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる        | 体操や廊下歩行に加え、移動の機会を多く提供し、体を動かすよう働きかけをしている。水分を十分に取っていただき、便通に良い食材の使用を心がけ、希望によっては毎朝ヨーグルトを提供している。 |      |                                   |
| 76  | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている                   | 自立者には声かけをし、要介護者はその人に応じた支援をしている。口腔内に異常が生じた場合は、受診や訪問歯科による早期対応に努めている。                          |      |                                   |

| 項目                             |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 77                             | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事や水分摂取量を記録し、栄養・水分の確保ができるよう工夫している。   |      |                                  |
| 78                             | ○感染症予防<br>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)   | 季節性、新型のインフルエンザ予防接種を実施。日頃から、うがい手洗いを励行し予防に努めている。発生、感染状況については情報を共有できるようにしている。                   | ○    | 感染症の知識を十分得るために、勉強会を重ねていきたい。      |
| 79                             | ○食材の管理<br>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている  | 熱湯消毒やハイター消毒を行い、衛生管理につとめている。鮮度や賞味期限に十分注意して使用している。   |      |                                  |
| <b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> |   |  |      |                                  |
| <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>          |   |  |      |                                  |
| 80                             | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫<br>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。                             | 外周を低めのホワイトフェンスにし、門扉からなだらかな勾配で玄関に通じている。段差は一切なく安心して出入りできる。施設というイメージをなくし、一件の「家」の雰囲気を出せるよう努めている。 |      |                                  |
| 81                             | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節を感じる事ができるよう、玄関、食卓、洗面所、居室に花を置き明るく華やかな雰囲気作りをしている。食堂と居間は続き間で開放感があり、ソファはゆったりとくつろげるスペースを確保している。 |      |                                  |
| 82                             | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                              | 食卓は、心身ともに落ち着いて食事ができるよう、利用者間の関係を考慮し座っていただいている。居間は好きな場所に座り、思い思いに過ごせるように、本人の意思を尊重している。          |      |                                  |

| 項 目                            |   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組んでいきたい内容<br>(すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|------|----------------------------------|
| 83                             | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居前に居室を見ていただき、家具の配置を一緒に検討している。馴染みの物や愛着のあるものを持ってきて頂き、安全で落ち着ける空間を確保できるよう共に考えている。                         |      |                                  |
| 84                             | ○換気・空調の配慮<br>気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている        | 清掃時、居室不在時には換気をし、状況によって随時調整をしている。また、適所に消臭剤を使用。夜間、就寝中はその人に合った温度調節をこまめに行っている。                             |      |                                  |
| <b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b> |   |  |      |                                  |
| 85                             | ○身体機能を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                 | 門扉から玄関～内部に亘り段差はなく、手摺りを使用し安全に移動することができる。広々とした廊下は、車椅子同士でも行き交うこともできる。安心して自由に行き来できることで、身体機能の維持、向上につながっている。 |      |                                  |
| 86                             | ○わかる力を活かした環境づくり<br>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している                           | 居室入り口には、表札や目印の装飾品を掲示しわかりやすいようにしている。浴室、トイレ、洗面所等の共同の場所には標示をし、依頼文や説明文を適所に貼ることで、混乱や失敗が減るように工夫している。         |      |                                  |
| 87                             | ○建物の外周りや空間の活用<br>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている                                   | 建物の四方は見晴らしもよく、朝陽や夕焼けを楽しむ事ができる。南側のベランダでは、吊るし柿や干し大根の作業をしている。玄関ホールでは利用者のピアノ演奏で歌を歌っている。                    |      |                                  |

| V. サービスの成果に関する項目 |  | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目              |  |                       |              |
| 88               | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる                      | ○                     | ①ほぼ全ての利用者の   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいの |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいの |
|                  |  |                       | ④ほとんど掴んでいない  |
| 89               | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある                         | ○                     | ①毎日ある        |
|                  |  |                       | ②数日に1回程度ある   |
|                  |  |                       | ③たまにある       |
|                  |  |                       | ④ほとんどない      |
| 90               | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている                            | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 91               | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている                 | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 92               | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている                           | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 93               | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている                     | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 94               | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている          | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|                  |  |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|                  |  |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|                  |  |                       | ④ほとんどいない     |
| 95               | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○                     | ①ほぼ全ての家族と    |
|                  |  |                       | ②家族の2/3くらいと  |
|                  |  |                       | ③家族の1/3くらいと  |
|                  |  |                       | ④ほとんどできていない  |

| 項 目 |   | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 |              |
|-----|---|-----------------------|--------------|
| 96  | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている                        |                       | ①ほぼ毎日のように    |
|     |   |                       | ②数日に1回程度     |
|     |   | ○                     | ③たまに         |
|     |   |                       | ④ほとんどない      |
| 97  | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | ○                     | ①大いに増えている    |
|     |   |                       | ②少しずつ増えている   |
|     |   |                       | ③あまり増えていない   |
|     |   |                       | ④全くいない       |
| 98  | 職員は、生き生きと働いている  | ○                     | ①ほぼ全ての職員が    |
|     |   |                       | ②職員の2/3くらいが  |
|     |   |                       | ③職員の1/3くらいが  |
|     |   |                       | ④ほとんどいない     |
| 99  | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                           | ○                     | ①ほぼ全ての利用者が   |
|     |   |                       | ②利用者の2/3くらいが |
|     |   |                       | ③利用者の1/3くらいが |
|     |   |                       | ④ほとんどいない     |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                       | ○                     | ①ほぼ全ての家族等が   |
|     |   |                       | ②家族等の2/3くらいが |
|     |   |                       | ③家族等の1/3くらいが |
|     |   |                       | ④ほとんどできていない  |

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

\*自分で箸を使い食事を楽しむことが、一日でも長く続くよう支援している。\*ほんとうに必要な適切な服薬により、副作用の減少や症状の緩和につなげたい。\*笑いの場をたくさん提供し、心身共に元気になるようにしていきたい。\*利用者の声をしっかりと聴き「自分らしく生きる」ために、あらゆる工夫を重ねて支援をしていきたい。